

# 坪生学区まちづくり計画

～夢と笑顔のあふれるまちづくり～



坪生学区まちづくり推進委員会

# 目 次

1 学区の概況	P 1
2 学区の現状と課題	P 2
3 まちづくりの基本姿勢	P 3
4 活動方針	P 4～P 5
5 まちづくり行動計画	P 6
6 行動計画の実施方法	P 7～P 8
7 まちづくり推進体制	P 9～P 1 0
・町内会連合会	
・まちづくり推進委員会	
・自主防災組織	
・学校支援地域本部	
付 1 . 各町内会（自治会）の実態	P 1 1
2 . 地域懇談会の集計表	P 1 2

表紙 写真「神森神社秋季大祭」  
2013年11月「つぼうふれ愛フェスティバル」で坪生学区を  
対象にした写真コンテストで金賞を受賞した相原孝夫さんの作品

# 1. 学区の概況

坪生学区は、福山市の南東部に位置し、岡山県笠岡市と接している。歴史は古く、平安時代に開墾され、藤原家の荘園として発展し、多くの史跡が保存されている。

農業を中心とした坪生盆地には、川がないため、多くのため池を造り、わずかな高低差を利用して用水を確保した。自然環境には恵まれているが、近年宅地造成が進み、福山市東部のベッドタウンの様相を呈している。気候は温暖で、長年、自然災害や危機に直面することもなかったため、災害に対する意識は薄い。

昭和30年に坪生、春日、大津野の3か村が合併して深安町となる。当時、坪生は283戸、人口1,469人、であった。昭和40年に福山市に合併、日本鋼管福山製鉄所（現JFEスチール株式会社）完成とともに住宅団地も次々に完成し、住民が増加した。その後も、坪生公民館開館、坪生小学校の移転、山陽自動車道の開通により、坪生学区の風景も大きく変貌した。

教育・文化面では、公共の建物は、小学校、幼稚園、公民館、東朋ふれあいプラザのみで少ないが、小学校と地域との連携、公民館のサークル活動、東部市民大学の受講など、学習やボランティア活動に熱心に取り組んでいる。

・略年表

・総人口・小学校児童数の推移

	項 目	年度	人口数	児童数
1955 (S30)	坪生・春日・大津野村合併、深安町	2004	10,694	464
1965 (S40)	福山市に合併、坪生町	2005	10,717	685
	日本鋼管福山製鉄所稼働	2006	11,146	704
1973 (S48)	坪生公民館開館	2007	10,960	725
1975 (S50)	坪生小学校移転	2008	11,045	736
1991 (H3)	東朋ふれあいプラザ完成	2009	11,010	736
1997 (H9)	山陽自動車道開通	2010	10,081	735
2007 (H19)	坪生ふれあい推進委員会発足	2011	11,168	719
	明るいまちづくり坪生学区委員会	2012	11,136	701
2010 (H22)	まちづくり推進委員会に併合	2013	11,176	709
	坪生公民館改築移転	2014		700

## 2. 学区の現状と課題

東京オリンピックが開かれた1964年から50年、日本は大きく様変わりした。戦後復興、高度経済成長と世界に誇った時代から、超高齢化、低成長の時代に入り、大家族や濃密なつながりのある地域社会の風景は失われつつある。10年後には、人口減少とともに戦後ベビーブームで生まれた団塊の世代が全員75歳を超えるなど、これからのまちづくり計画に大きな影響を与える課題が山積している。

坪生学区も、こうした全国の課題とほぼ同じ課題をかかえており、地域性を加味して、どのように解決していくかが今問われている。

### ～主な課題をあげると～

#### (1) 位置的な課題

坪生学区は、福山市の東端にあり、公的建物が小学校、幼稚園各1、公民館1、東朋プラザ1と少なく、中学校、高校、大学はない。

また、交通も不便で、井笠バス（株）が倒産し、代替バスが減便となって運行しているが、待ち時間が長いなどの理由で利用者の増加が見込めない。

学区内には、病院、商店が少なく通院、買物など不便をきたしている。

#### (2) 町内会の課題

学区内には、25の町内会があるが、そのうち、自治会の名称は1つのみで、名称の統一の課題が残っている。

また、770世帯の町内会から13世帯の町内会、旧村時代から住んでいる人が多い町内会と新しく団地に引越して来た人たちを中心にした各町内会で異なる課題がみられる。

#### (3) 超高齢化と少子化による課題

会員の減少と後継者の育成、介護や見守り支援、ふれあいサロンの設置など課題も多く、まず隣、近所とのつながりが求められる。

#### (4) 通学路の課題

信号機の設置、横断歩道、カーブミラー、街灯などの設置、いずれも経費を伴うものだけに、行政に要望しても実現しにくいものが多い。

### 3. まちづくりの基本姿勢

坪生学区でも、人間関係が希薄になっており、今までも人と人とのつながり（絆）をキャッチフレーズにして、学区、各町内会、各種団体が独自に、また、相互に連携しながらいろいろな行事に取り組んできた。

しかし、依然として諸行事に関心の薄い人（または自己中心的な人）と積極的に行事に参加してボランティア活動に熱心に取り組む人と2極化の傾向がみられる。

これらの課題を解決するため、これまで気づいてなかった地域の現状の認識や諸課題に対して課題意識の共有化を図るため、地域別、世代別に話し合いの場を設定して、今後の「まちづくり計画」を策定することにした。

#### (1) 地域での話し合い

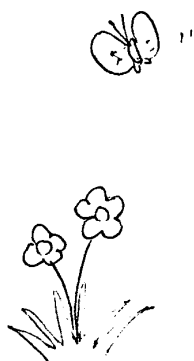
2013年 3月	アンケート調査 全戸配布 回収率 44.4%
5月	各種団体長会
5月～9月	町内連合会長会
8月	小学校PTA
	老人クラブ連合会
	子ども会育成協議会
8月～10月	地域懇談会 19会場
12月	町内連合会役員会で総括

#### (2) 「まちづくり計画」の策定

2014年 1月	「まちづくり計画」の構成ならびに素案作成
2月	まちづくり推進委員会の総会で「まちづくり計画」の原案承認
3月	原稿提出
4月	まちづくり推進委員会の総会で配布



まぐらひめ



つぼさく

## 4. 活動方針

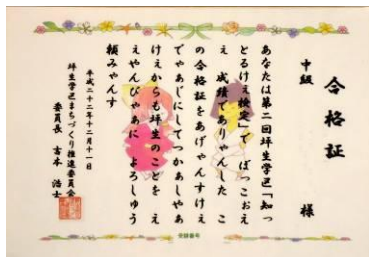
### (1) これまでの主な取り組み



D V D

#### 2007年～2008年度「安心・安全」

「地域力！心でつなぐまち坪生」をスローガンに、あいさつをはじめ、子どもの見守り、青色パトロールの巡回などに重点をおいた。また、日ごろ、安心・安全なまちづくりに取り組んでいる人達や標識等の設置場所がよく分からない住民が多いのでDVDを作成して周知した。



検定合格証

#### 2009年～2010年度「教育」

住んでいるまちの理解をしてもらうため「坪生知つとるけえ～」検定（初級・中級編）を実施した。また、公民館に航空写真による史跡案内板（183cm×273cm）を設置し、歴史と文化の周知を図った。



車イスの体験

#### 2011年度「福祉」

高齢者防犯モデル地区の指定や、おでかけ支援の視察など高齢者の問題を重点に取り組み、災害時要援護者避難支援事業も始めた。また、車イスやアイマスクの体験も実施した。



防災訓練

#### 2012年度「防災」

坪生学区は、自然災害が少ないので防災意識が低い。各町内会長に安全な場所（1次避難場所）や危険な場所のチェックを再確認してもらい「防災マップ」を作成した。

3月の防災訓練には、896名が参加し、いろいろな体験を経験することができた。



神楽（八岐大蛇）

#### 2013年度「活力」

坪生公民館創立40周年記念行事と共催して「ふれ愛フェスティバル」を実施。約3,500人が参加した。

北広島町の神楽団や坪生消防分団の「木遣り」で盛りあがり、町民の絆を深めることができた。

また、坪生学区内を対象に絵画、写真コンテストを実施。坪生のよさを再認識した。



## (2) 2014年～2016年度の「まちづくり計画」

これまでの取り組みをさらに充実・発展させるとともに新しい課題に挑戦するため、5つの柱をたてて、まちづくりを推進します。



協働のまちづくり (広報紙)

### ☆ 人権を尊重し差別のないまちづくり

- ・「住民学習」の参加率をさらに向上させたり、研修会に参加して理解を深め、差別のないまちづくりを進めます。
- ・広報紙「坪生学区協働のまちづくり」(A4判)を隔月に発行して各戸配布し、学区内の動静や重要な事業等の解説を行い、住民に情報を提供します。



夏まつり (坪生音頭)

### ☆ 人と人とのふれあいのあるまちづくり

- ・恒例の「夏まつり」や「ふれ愛フェスティバル」を通じて、隣、近所のつきあいを深めることからスタートし、将来を担う小学生、中学生の参画をはかり、自助、共助、公助による夢と笑顔のあふれるまちづくりを進めます。



登校時

### ☆ 安心で安全なまちづくり

- ・通学路等で交通事故多発地点、不審者の出没地点等危険な場所を地図で示し、子どもの見守りや横断歩道、信号機の設置等を要望していきます。
- ・災害に備え、訓練や研修会を通じて、防災(減災)意識や絆を深め防災器材等の整備を行い、安全なまちづくりを進めます。



三世代運動会

### ☆ 安らぎと支えあいのあるまちづくり

- ・子どもたちを学校、保護者、地域で協力しながら素直で責任感の強い子に育てます。
- ・高齢者の抱えている課題を支援しながら、世代を超えた行事を行い、いきいきと暮らせるまちづくりを進めます。



健康料理教室

### ☆ 笑顔ひろがるまちづくり

- ・まちづくりの基本は、学区民一人ひとり、健康であることです。
- ・特定健診を受けることはもちろんのこと、健康料理教室や健康体操等に参加して、みんなと語りあい、楽しい日々が過ごせるようにまちづくりを進めます。

## 5. まちづくり行動計画

推進方針	事業内容	目標（実施）年度				
		2012	2013	2014	2015	2016
人権を尊重し差別のないまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>学区内の諸行事の把握</li> <li>すぐれた町内行事への助成</li> <li>全国大会等の出場者顕彰</li> <li>住民学習の参加率アップ</li> <li>広報誌「協働のまちづくり」発行</li> </ul>	○	○	○	○	○
人と人とのふれあいのあるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあい夏まつり</li> <li>ふれ愛フェスティバル</li> <li>学区民運動会</li> </ul>	◎	○	○	○	○
安心で安全なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの見守り活動</li> <li>子ども110番の家加入促進</li> <li>青色パトロールの巡回</li> <li>防災マップの作成</li> <li>自主防災・初期消火の訓練</li> <li>信号機、横断歩道等の増設</li> <li>災害時非常用品の充実</li> <li>交通事故多発地点マップの作成</li> </ul>	○	○	○	○	○
安らぎと支えあいのあるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいいきいきサロン</li> <li>おもちゃサロン活動</li> <li>小地域福祉ネットワーク活動</li> <li>高齢者の見守り支援</li> <li>災害時要援護者の支援</li> <li>三世代運動会</li> <li>仮称「お助けマン」の創設</li> <li>買物難民の支援</li> </ul>	◎	○	○	◎	◎
笑顔ひろがるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊歩道の整備</li> <li>健康&amp;クリーンウォーキング</li> <li>とんど祭り</li> <li>健康料理教室</li> <li>健康体操の推進</li> <li>特定健診の推進</li> <li>エコ廃油の回収活動</li> <li>ゴミ分別の周知徹底</li> </ul>	◎	○	○	○	◎



## 6. 行動計画の実施方法

### 2014年度 重点目標「安心・安全」

当学区内は、農村地帯が急激に宅地化したことから、(横断) 歩道や信号機のない交差点が多く、通学路にも危険箇所が多い。

最近、新しい県道(神辺～大門線)が開通し、自動車の通行量も多く、規制されたスピードを超えて走る車も増えている。

交通事故を未然に防ぎ、子どもが安心して通学できるよう取り組んでいきたい。

主な取組	事業内容	取組主体			目標年度
		学区	協働	学区外	
通学路の安全確保	学区の見守り	○			2013
	通学路の草刈	○			2013
	交通量の実態調査	◎			2014
	危険箇所マップ	◎	○		2014
	注意等看板設置	○	○		2014
	歩道の設置		○	○	2015
	カーブミラーの設置・点検	○		○	2015
	信号機設置		○	○	2016
不審者対策	青色パトロールの巡回	○			2013
	子ども110番の家加入促進	◎			2014
	高齢者の見守り	○			2014
	特殊詐欺の防止	○	○	○	2014
	街灯の整備		○	○	2015
住民への啓発	小学校自転車教室	○		○	2013
	交通安全講習会	◎		○	2014
	防犯講習会	◎	○	○	2014

(注) 目標年次は、今までも実施してきたが、特に重点を置く年次を示した。

学区：自分たち(町内会、学区)でできること。

協働：行政(主として福山市)と協働でできること。

学区外：学区では難しいもの(国、県、警察署など)

## 2015年度 重点目標「福祉」

坪生学区内では、2013年度75歳以上の高齢者が1,000人を超えた。毎年100人前後の増加である。また、65歳以上の人が人口に占める割合も24%で10年後には確実に4人に1人が高齢者となる。こうした超高齢化社会にどう対処するか、その対策が早急に求められている。

主な取組	事業内容	取組主体			目標年度
		学 区	協 働	学区外	
高齢者対策	高齢者の見守り	○			2013
	要援護者の支援	◎	○		2014
	健康料理教室の推進	○	○		2015
	健康体操の推進	○	○		2015
	敬老会の有り方	◎	○		2015
	「お助けマン」の創設	○			2015
	会員の減少対策	○			2015
	交通手段の確保		○	○	2016
	買い物難民の支援	○	○		2016
	子ども等対策	三世代運動会	◎		
おもちゃサロン		○	○		2014
小学校との連携		◎			2014
子ども会の育成		○			2015

## 2016年度 重点目標「環境（防災）」

2011年に発生した東日本大震災を契機に、自然災害の少ない坪生学区でも徐々にその意識は高まりつつある。

防災地図はすでに作成しているが、防災訓練を通して災害時の活動に役立つよう継続して防災知識の啓発や訓練などの実施に取り組みたい。

その他、身近な問題では、ゴミ問題、犬猫の問題、公園の整備やマナーを守らない人の対応など課題は多い。

## 8. まちづくり推進体制

町内会連合会	まちづくり推進委員会		自主防災組織	備 考
会 長	委員長		会長	
副会長	副委員長	総 務	実行委員会	
〃	〃	ふれあい	本部役員	
〃	〃	安心・安全	〃	
〃	〃	福 祉	〃	
事務局長	〃	環 境	〃	
会計	事務局長		〃	
会計補佐	事務局補佐		事務局長	
会計監査	会計		事務局員	
〃	会計補佐		〃	
顧問	会計監査		会計	
〃	〃		会計補佐	
〃	事務局員		監事	
	〃		〃	
	〃		顧問	
	〃		〃	
	〃			

### 坪生学区まちづくり推進委員会構成団体

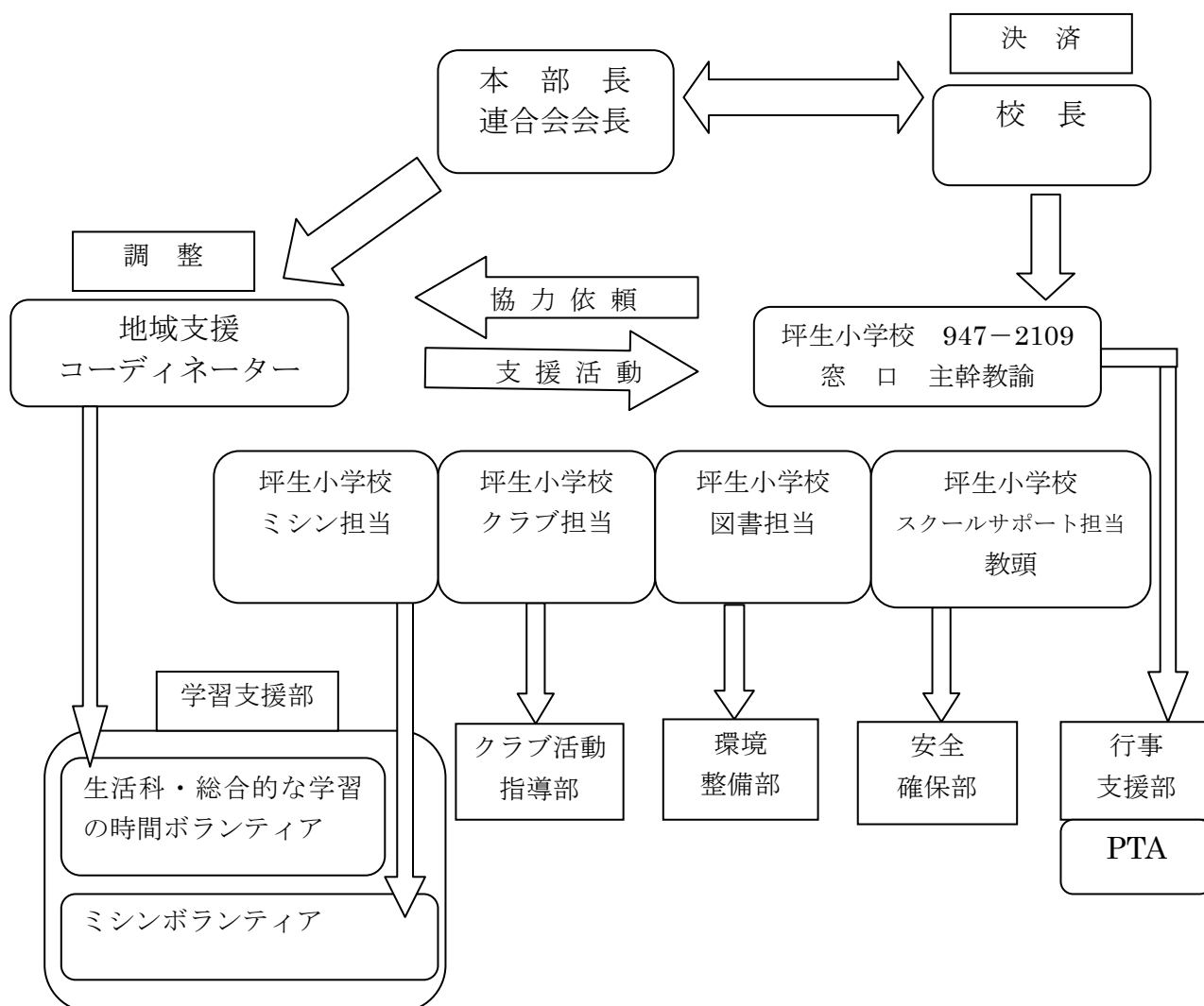
委員	坪生学区町内会連合会	民生委員児童委員	坪生学区交通安全自治会
	各町内会会長	坪生学区青少年育成員協議会	坪生小学校
	坪生学区人権学習推進協議会	坪生学区子ども会育成協議会	坪生小学校PTA
	自主防災組織	坪生学区女性会	東朋中学校
	坪生公民館運営委員会	坪生学区老人クラブ連合会	東朋中学校PTA
	福山市東防火協会坪生支部	坪生学区体育協会	坪生幼稚園
	福山市消防団坪生分団	坪生学区防犯組合	学識経験者（地域ボランティア）
	坪生学区公衆衛生推進委員会	つぼう郷土史研究会	坪生公民館
	坪生学区福祉を高める会	行政職員の会	

## 坪生小学校熱い絆地域本部 連携体制

「坪生小熱い絆地域本部」とは？

学校支援地域本部は、学校の教育活動を支援するため、地域住民の学校ボランティアなどへの参加をコーディネートするものです。すなわち、地域住民が学校を支援するこれまでの取り組みをさらに発展させて、組織的なものとして学校教育の充実を図るものです。

坪生学区では、以前からさまざまな学校支援を行ってきましたが、さらに学校、家庭、地域が一体となって子どもを育てる体制を整えるため、2012年度から標記事業に取り組んでいます。その基本的なしくみは、次のとおりです。



## 坪生学区町内会（自治会）実態

	町内会名	世帯数		人口 75歳以上	集会所の 有○・無 ×	町内会費	備 考
		加入	未加入				
1	仁井	118	5	49	○	500	
2	井ノ木	19	0	15	○	500	
3	井の木前	37	0	7	×	500	
4	薬師	21	1	3	×	500	
5	堂面	37	3	6	×	500	
6	瀬戸谷	13	0	4	×	500	
7	峠	49	2	15	×	500・1,000	2班あり
8	中組第一	44	1	13	×	500	
9	青木	118	3	34	×	500	
10	中組第二	112	56	30	○	500	
11	東池	109	54	55	○	600	
12	西池平	77	0	36	○	1,000	
13	葉座	58	1	16	○	5,000	(年額)
14	池上	86	6	18	○	600	
15	つくしヶ丘	67	2	4	×	500	
16	鶴丘	120	7	62	○	500	
17	ヤケザヤ	108	6	38	○	500	
18	山ノ奥	16	0	13	○	1,500	
19	狐原	109	28	35	○	500	
20	江戸野	38	5	20	○	1,500	
21	ひばりヶ丘	70	0	12	○	500	
22	川原山	270	32	61	○	500	
23	青葉台	292	20	83	○	600	
24	東陽台	600	170	367	○	550	
25	ニュータウン	318	1	12	×	500	
	合 計	2906	403	1008	有16		



**12** ページは、別ファイル「2 . 地域懇談会の集計表 (P12)」  
を参照してください。

